



平成20年度「四国山の日 in こうち」の様子

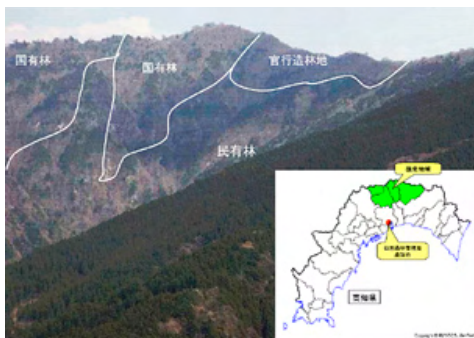
① 「四国山の日」〜新・四国の森林づくり推進事業〜
平成一六年一月に四国四県と四国森林管理局による「四国の森づくりに関する

五、国有林と民有林の連携の強化
民有林と一体となった森林整備、木材の安定供給、国有林を活用した技術研修や森林環境教育を行うことにより、「美しい森林づくり」を推進します。
具体的には

② 民有林との森林整備協定の推進
高知県嶺北地域の民有林と国有林との間で、効率的かつ効果的な作業路網の構築による間伐の推進等を目的とした森林整備協定を締結することとしています。

材の需要拡大を目的に、地域材利用促進協議会（仮称）の設立、地域材を使った木造住宅にふれる「地域材発見ツアー」や建築学科在籍の大学生等を対象とした森林環境教育に取り組みます。

共同宣言」が行われました。この共同宣言を具体化するために、徳島県徳島市等において森づくり交流学習会や森づくり活動を地域の方や森林ボランティアと共同で行うなど、引き続き「四国の森づくり」に取り組みます。



森林整備協定締結候補地 いの町 (旧) 本川村

この森林整備協定の締結により、民有林と国有林が連携した路網の整備、間伐の実施など森林整備のより一層の推進が期待されます。

四月十一日、奥物部三嶺山系の稜線部で、ニホンジカの食害等により枯れたササ原を再生するために、獣害防止ネット等の設置作業を行いました。

各地の
たより

みんなの力で
三嶺の森の自然再生を

〈高知中部署〉



四月十一日、奥物部三嶺山系の稜線部で、ニホンジカの食害等により枯れたササ原を再生するために、獣害防止ネット等の設置作業を行いました。当日は、当署や三嶺の森をまわるみんなの会、高知県及び物部川流域三市（香美市、香南市、南国市）の呼びかけに応じて、ボランティアなど総勢百五名



このネット柵の設置には、今年の十一月にヘリコプターで麓から運び上げておいた資材を使いました。
現地の尾根筋の作業では日差しが強く、時折風も吹き抜ける中、みんなで声を掛け合っ

今回の作業は参加者の体力に合わせて、次のように二組に分かれて実施しました。
一組目は、白髪山の麓で、モミなどの樹木を守るために、一本一本の木にネットを巻きつける作業を行いました。
二組目は、片道二時間半ほどを登り、三嶺の頂上が真近に見える高知県と徳島県との稜線部のカヤハゲ地区と蕪生越地区で、ネットを使用した柵を設置しました。

この日は好天に恵まれ、絶好の行楽日和でしたが、作業に集中した参加者には三嶺の姿はあまり目には入らなかったのではと思われま

ト柵があり、ここでの植生の回復状況がはっきりと見てとれました。参加者は、ネット柵の効果を確認し、シカによる食害を少しでも防ごうと、とっても熱心に作業に取り組んで下さいました。

地域住民による公園整備
「黒尊親水公園歩道整備」
〈ふれあいセンター〉

四月十八日、四万十市西土佐黒尊山国有林にある黒尊親水公園内の歩道整備（環境保全型舗装）をボランティアにより実施しました。
この公園は四万十森林管理局が広く一般市民に癒しの場を提供するため整備したのですが、公衆トイレまでの間の



歩道が未舗装であるため地域住民から車椅子などでのトイレが利用しやすいよう舗装を望む声がありました。
そこで、当ふれあいセンターでは、日頃から協働して黒尊川流域の環境保全や地域の振興に努めている「しまんと黒尊むら」に呼びかけ、歩道の舗装を行うことにしました。



注：「しまんと黒尊むら」地域住民組織で、黒尊川流域

め、交流や体験活動の拠点として、親水公園の活用が期待されます。
「しまんと黒尊むら」の声もありました。
今後は、隣接する東屋を含め、交流や体験活動の拠点として、親水公園の活用が期待されます。

当日は、「しまんと黒尊むら」のメンバーや黒尊森林官、地域住民、高知県、四万十市の職員ら二十三名がトイレ周辺及び幹線道路からトイレへの歩道整備（舗装約百三十メートル・幅員一、四メートル）に汗を流しました。なお、舗装資材については、(財)日本森林林業振興会高知支部のご協力を得ました。



四月二十四日、足摺宇和海国立公園内にある滑床溪谷で、恒例となっている松野町等が主催する滑床山開きの神事が行われました。
これに合わせて、遠足を兼ねて参加していた地元の松野南

滑床溪谷で森林教室
「滑床山開き」に合わせて
〈愛媛署・ふれあいセンター〉

の魅力ある自然環境を住民と行政が協働して保全することによって、そこで生活している住民が自然の恵みを楽しみ、持続可能な地域社会を構築することを目的として活動しています。

小学校の児童二一名（目黒緑の少年隊）を対象に、愛媛森林管理署と合同で森林教室を実施しました。
始めに、クイズ形式で木の名前を当てるネイチャーゲームを行いました。これは、昨年、同地で学習した樹木の復習を兼ねて実施したもので、児童達は、分かりやすいヒントを出そうと一生懸命考えたり、また、見事名前を当てると皆んなで大喜びをしていました。
午後からは、パネルや模型を使って森林の働きについて体験学習をしました。水の土壌浸透実験では、児童が実際に上からジョロで水をまくと、裸山は水が土の上を一気に走り、模型の家を押し流してしまいました。森林のある山は、樹木や落



葉がクッションとなって土砂の流出を防ぎ、模型の家は無事でした。実験を通して、児童達は、森林は土砂の流出を防ぐ「緑のダム」として、大雨が降っても洪水が起こりにくい働きがあることが理解できたようです。



協働メンバーの

イベントに参画

「四万十楽舎」で木工教室

（ふれあいセンター）

四月二十五日、四万十市西土佐にある社団法人「四万十楽舎」で十周年記念イベントが開催され、記念式典の後、コンサートや和太鼓の演奏などで賑わいました。同楽舎は、四国森林管理局などが四万十川の支流、黒尊川流域の森林と清流の保全・再生などを通じて、地域の活性化に取り組んでいる「四万十くろそん会議」の協働メンバーで、森林環境教育も連携して実践しています。



当センターは、体験コーナーの木工教室を担当し、カブトムシや動物のストラップ作りを指導しました。始めは、子どもの作業を見守っていたお母さん方も、「大人も作っていいですか?」と参加、親子で



楽しそうに作製していました。今回の木工教室は、「四万十くろそん会議」の活動を進めるとともに、来場者に木材への関心を高めてもらう取組となりました。

堂ヶ森風景林で

木工教室

（ふれあいセンター）

子供の日の五月五日、風景林として保護され、アカガシなど貴重な天然林が残っている四万十市と四万十町の境に接する土佐堂ヶ森（標高八五七m）山頂で、毎年恒例の「堂ヶ森祭り」が、地域住民一〇〇名余りが参加して盛



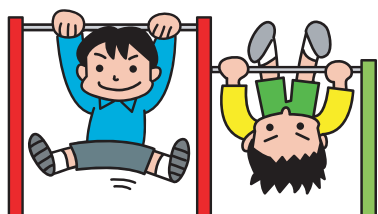
大に行われました。

祭りでは、神事後に餅投げや地元で有名な関六口さんによる漫談調バナナのたたき売り、また、ちびっ子相撲や高知県では珍しい女性による相撲など楽しい催しがたくさんありました。

当センターでは、堂ヶ森周辺を森林教室などのフィールドとして活用しており、毎年、安全祈願と併せて地域住民との交流を深めると共に、センターの活動をPRしています。

今回は、参加した子供たちに、サクラの端材でキーホルダーの作り方を指導したところ、参加者の中には、どうしても孫に作ってやりたいと熱望する人や自分のキーホル

ダーにしたいと言う大人の方々も混じり、子供達共々、出来上がった作品を観て満足そうな笑顔でした。堂ヶ森山頂での木工教室は、木立に囲まれての楽しい思い出と共に、心に残る有意義な一日となったことでしょう。





四国山の日

11月11日は四国山の日

四国山の日賞募集

平成16年11月14日の「四国の森づくりシンポジウム」において、徳島県、香川県、愛媛県及び高知県知事並びに四国森林管理局長が一堂に会し、「四国の森づくりに関する共同宣言」を行い、毎年11月11日を「四国山の日」と制定し、さまざまな取組みを4県と森林管理局が連携して推進しています。

この「四国山の日」の取組みの一環として、18年度「四国山の日賞」を創設し、共同宣言の趣旨に沿って四国の森づくり等の取組みを積極的に推進している団体等に対して表彰を行うこととしました。

自薦、他薦は問いませんので、ご応募お待ちしております。

● 部 門

- ① 多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進
- ② 木材の利用推進
- ③ 森林環境教育活動の推進

● 募集期間

平成21年4月15日から平成21年6月30日まで(当日消印有効)

● 応募方法

応募にあたって、詳細は下記ホームページでご確認下さい。
なお、各部門毎に、応募の様式を定めておりますので、お手数ですが、四国森林管理局ホームページからダウンロードして頂き、必要事項を記入の上、郵送にてご応募下さい。

※四国森林管理局ホームページは<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

● 応募先

〒780-8528 高知市丸ノ内1-3-30

四国森林管理局 指導普及課内 四国山の日賞選考委員会 事務局

● 選考・発表

学識経験者等で構成する「四国山の日賞選考委員会」(平成21年8月28日)で選考を行います。

受賞者へは平成21年9月中に通知します。選外の通知はしません。

● 表 彰

平成21年10月31日に、徳島県において、実施する四国山の日関連行事において表彰します。 ※各部門毎に、1~数団体等を表彰予定です。

● その他

応募に係る書類は、返却しません。

また、個人情報については、選考の目的以外には使用しません。



問い合わせ先

四国森林管理局 指導普及課(088-821-2121)

国民の森林
国有林

